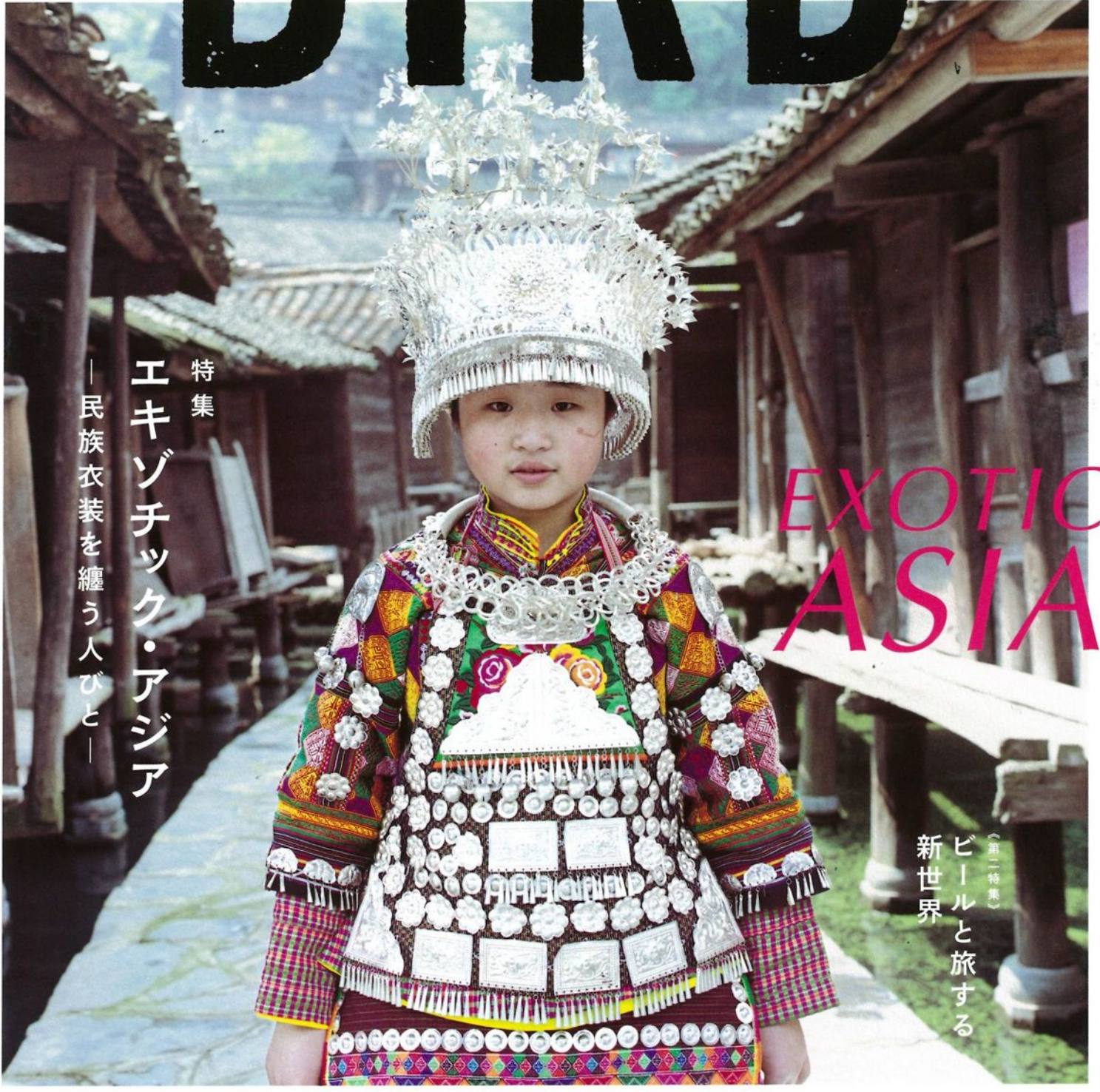


LIFE'S A JOURNEY

BIRD



EXOTIC
ASIA

（第二特集）
ビールと旅する
新世界

特集
エキゾチック・アジア

— 民族衣装を纏う人びと —

COUNTRY & SOCIETY

国と社会



 CAMBODIA

Sopheap Pich

ソフィアアップ・ピッチ

壮大で有機的な彫刻物から
土地の記憶と感情を呼び起こす

竹やヤシの素材を用いて、植物や伝統的なモチーフを模した彫刻作品を生み出すアーティスト。《Morning Glory》(アサガオ)と題した作品では、1975~79年の間にカンボジアで起きた飢饉の際にアサガオが貴重な栄養源になったことから、花の造形を象った巨大な彫刻物を創出。歴史に刻まれた人びとの記憶と感情を呼び起こすことで、家族、人間の共存、生命力といった壮大なテーマを見る者に訴えかける。内戦や飢饉など混乱のただなかにあったカンボジアの歴史を、巧みな技術と洗練された美的感覚によって見事に現代へと継承している。



上/《Morning Glory》2011
下左/《Morning Glory 2》2011
下右/《Seated Buddha》2011
Courtesy of artist and Tyler Rollins Fine Art

 SINGAPORE

Justin Lee

ジャスティン・リー

東西文化がミックスした
資本主義国家へのアイロニー

長らくイギリスの支配下にあり、戦後は資本主義の恩恵を受けて発展を遂げたシンガポール。この国のアイデンティティを見出す試みのひとつとして、リーは自国の消費文化やコマースリズムに焦点を当てている。彼の代表作《EAST & WEST》では、中国の絵画風の女性たちに携帯電話やMacBook、シャネル風のバッグなど現代的なモチーフを持たせたユニークなアイコンを発表。伝統的な東洋のイメージと西洋のポップアートの感覚を融合させ、東西の混合によって成り立つシンガポール社会をアイロニカルに描き出す。

《EAST & WEST》2009, Courtesy of the artist Cooperation: ART SEASONS

